

平成29年度 学校教育目標を達成するためのグランドデザイン(全体構想)

1 【自主】自ら考え進んで実践(学ぶ)する生徒の育成に向けて

重点施策	取組指標	成果指標
①学習に主体的に取り組み、学ぶことの楽しさや成就感を味わうことのできる授業の工夫	教師は授業のはじめに「ねらい」を明確に示し、生徒が授業の見通しをもち主体的に取り組めるようにする。	生徒アンケート調査により、「先生は授業のねらいを明確にしている」と答える生徒90%以上を目指す。
②学びを実感できる授業の工夫	教師は授業の最後に、ねらいに沿った「振り返りの場」を確実に設け、学びを実感できるようにする。	生徒アンケート調査により、「先生は授業の振り返りをしている」と答える生徒80%以上を目指す。
③自ら学習する生徒の育成(「北中学び塾」の開催と家庭学習の奨励)	計画的な「北中学び塾」の実施と家庭学習の仕方を指導し、自ら学習に取り組む生徒を育成する。	生徒アンケート調査により、「毎日、授業以外に学習をしている」と答える生徒80%を目指す。
④読書活動の推進(朝読書と図書室利用の奨励)	朝読書の実施と図書室利用を奨励し、読書活動を推進する。	図書貸出し数6,400冊を目標にする。

2 【親愛】思いやりのある生徒の育成に向けて

重点施策	取組指標	成果指標
①挨拶ができる環境づくりの推進	来客に挨拶する場合は、自分から「先に挨拶する」ことを生徒に指導するとともに、言葉遣いもしっかりと指導する。 ※国語の授業との連携	生徒アンケート調査により、「来校者に対して自分から挨拶している」と答える生徒80%を目指す。
②特別支援教育の理解と奉仕活動、体験活動の推進	特別支援学級との交流を大切にする。また、全ての生徒に、奉仕活動、体験活動に取り組む機会を与える。	生徒アンケート調査により、「奉仕活動、体験活動に興味関心がある」と答える生徒80%を目指す。
③全教育活動で道徳性の育成	年間35時間以上の道徳の授業実施と文科省配布の「私たちの道徳」を活用するなどし、全教育活動で道徳性の育成をはぐくむようにする。	生徒アンケート調査により、「道徳の授業では自分のことを見つめ直すことができた」と答える生徒80%以上を目指す。
④特別活動の充実により、自信をはぐくみ自己有用感の高揚	北中三大大事は生徒の実行委員会を組織し、生徒の自主的実践的な取組となるようにする。また、生徒は達成感や自己有用感が高められるようにする。	生徒アンケート調査により、「行事に対して積極的に取り組んだ」と答える生徒90%以上を目指す。
⑤不登校及びいじめの未然防止の取組と早期対応	教師は生徒主体であるいじめの未然防止を支援する。また、不登校やいじめが発生したときは組織的に速やかに対応する。	生徒アンケート調査により「学校・学年・学級はいじめの未然防止の取組を行っている。」と答える生徒85%以上を目指す。

3 【健康】心身ともに健康な生徒の育成に向けて

重点施策	取組指標	成果指標
①共通理解，共通行動により組織的な生徒指導を推進(凡事徹底)	学校は当たり前前の方が当たり前前のできる(凡事徹底)ように，全職員で共通理解した生徒指導を推進する。	生徒アンケート調査により「学校生活の約束事は守れた」と答える生徒90%以上を目指す。
②食育の推進	学校は給食活動を生かした食育の推進を行い，食べることの大切さを理解させる。	生徒アンケート調査により「朝食は毎日食べる」と答える生徒90%以上を目指す。
③学級づくりをとおして，生徒間，生徒・教師間の人間関係の醸成	教師は自らの力で学級の課題解決できるように学級の話し合いや係活動の活発化を図り，生徒間に望ましい人間関係のある学級経営を行う。	生徒アンケート調査により「学級内で誰とでも話をするができる」と答える生徒80%以上を目指す。
④家庭生活習慣の改善を図る取組	教師はネット等依存の危険性についての指導等を行い，家庭生活習慣の改善を行う。	生徒アンケート調査により家庭でのネット等の使用3時間以内の生徒90%を目指す。
⑤主体的な部活動の取組(保護者の理解と連携，外部指導者や仙台大学生の活用)	教師は全ての部活動における活動方針の説明やお便り等を発行することにより，保護者の理解と連携を図る。また，学校は外部指導者の活用と複数顧問の配置により，きめ細かな部活動運営を行う。	生徒アンケート調査により「部活動に一生懸命に取り組んだ」と答える生徒90%以上を目指す。

4 社会に貢献できる生徒の育成に向けて【奉仕】

重点施策	取組指標	成果指標
①進路指導の充実と志教育の推進(宮城県：志教育，岩沼市：夢☆あこがれプロジェクト)	学校は全教育活動で志を高める教育を推進し，1年生から計画的に進路指導を行う。また，すぐれた体験等をする人の講演や公演を実施する。	生徒アンケート調査により「自分の進路について考えている」と答える生徒85%以上を目指す。
②アルカス活動やボランティア活動の推進	学校は学期に一度のアルカス活動やボランティア活動が実施できるように支援する。 ※「アルカス活動」の周知	生徒アンケート調査により「学校はアルカス活動やボランティア活動が行われ，地域に貢献している」と答える生徒85%以上を目指す。
③地域の実態を踏まえた防災教育の推進	地域の実態を踏まえ，防災副読本を積極的に活用した防災教育推進し，防災意識の向上を図る。	生徒アンケート調査により，「災害時の対応を考えている」と答える生徒80%以上を目指す。
④保護者・地域の信頼に応える開かれた学校づくりの推進(PTA・学校評議員・同窓会)	学校はホームページの更新，学校メールの活用，PTAへの参加，学校だより等の発行により開かれた学校づくりを推進する。PTAの参加率を高めるため，懇談会をの内容をより工夫したものにする。	PTAの参加率60%以上を目指す。